

非核平和ネットやまがたニュース 2008/05/13 NO.4

T E L 070(6953)6900 FAX 0235(24)7924 Eメール : kai-coop@ever.ocn.ne.jp

今年の憲法記念日は自身はじめての中央集会参加を始め「9条世界会議」「ベアテ・シロタ講演会」「国民平和大行進出発集会」と憲法三昧の3泊4日となった。

目的は「9条世界会議」だったが、副産物もいろいろあってホント有意義な旅だった。1万2千人が参加し、3千人が溢れた初日の世界会議は爽快だった。あぶれた三千人の一人だったが、開会に遅れたわけでは決してなく、20分前に着いた時にはすでに列は100m以上もあり、開会時間を過ぎても列はまったくそのまま。「これはすごいことになった」。不思議なことに前売り券を持つこの長蛇の列は一向にニコやかなのだ。入れないかもしれない苛立ちがある一方で「ホントによく集ってくれた」という安堵感、嬉しさがジワジワと込み上げてくるのだ。「世界は9条を選びはじめた」-集会のこのコピーを肌で実感した3泊4日。得たものは実に大きかった。この財産を地域にどう反映できるか、大きな宿題ももらってきた。(S)

「鶴岡市に平和都市宣言を求める会」

5月31日市勤労者会館で結集集会

- どんどん署名を集め、短期集中の行動で一気に -

5月15日付「鶴岡タイムス」に折り込み

3万6千の鶴岡市全世帯に「求める会」チラシがはいります！

ついに動き始めました。

6月10日から始まる6月市議会に“核抜き”平和宣言が提案されるかどうか、いよいよ正念場です。これはこれまで鶴岡で積上げてきた民主・革新運動が試される課題です。時間がありませんが、総会、総代会が続く人の動く時期という有利さもあります。一気に署名を集め、31日の署名結集集会に集まりましょう。

田川原水協では5月9日署名はこの一点に絞り、「6・9行動」を行ないました。たった30分二人の行動でしたが、ナント署名は33筆、2700円の募金をいただきました。葉書も5通出ています。これはこれまでのどの署名よりも関心度の強いものでした。やはり地域の課題、ということでしょう。

自分たちのまちづくりのために、各団体、個人、自発的に様々な行動を大いに繰り広げていきましょう！

署名用紙、宣伝チラシ欲しい人は佐々木まで連絡く

ださい。葉書も若干ありますのでお早めに連絡ください。連絡をお待ちしています。

「非核平和宣言署名」結集集会

5月31日(土) 午後2時開会(～4時)
鶴岡市勤労者会館大ホール

千葉・仙台の会場に鶴岡、田川から続々参加 -

近々「9条世界会議」報告交流会を開きま～す！

ちょうど一年前山形センター合唱団の木村さんからやらないかと呼びかけられ立てこんでいてどうしても受けられなかったウクライナの歌姫「ナターシャ・グジー」のミニライブを聴きに行くと三川九条の会の成田さんとばったり。まるで鶴岡の集会でも会ったかのような“自然”さで驚きました。

幕張メッセの「世界会議」にはその他、3学区九条の会の池田さん、1学区九条の会の高夫妻と会いました。仙台集会には医療生協から車2台、県救援会ツアーの何人か、と数多く参加しています。

全国と世界の息吹を地域に還元していく「交流会」をぜひ近々開きたいと思います。

追ってご連絡。

つるおか被爆者の会 三浦恒祺会長の絵で「記念平和絵葉書」完成

広島に被爆者でつるおか被爆者の会会長の三浦恒祺さんは洋画家でもあります。被爆者手帳の取得を機によやくヒロシマを描けるようになったという三浦さんは連作「原爆の形象」を手がけています。今年は県原水協として三浦さんを原水禁世界大会・広島に送る予定です。

絵葉書の収益は三浦さんの代表派遣募金にもつな갑니다。ぜひ各団体、個人で大いに普及ください。

表紙絵（裏面に三浦さんのプロフィール）含め6枚入り。フルカラー。

領価500円（地域原水協 卸350円、県団体 卸400円）

まだ間に合います。21日まで連絡ください。

「日本海を平和の海に」 -

これぞ“日本海平和戦線”！

佐渡レーダー基地調査にみんなで行きましょう 5月24-25日

企画 24日（土）午後2時～4時半 「平和シンポジウム」 新潟市内・クロスパル
午後5時～ 平和委員会活動交流会

25日（日）佐渡レーダー基地調査 新潟港発 午前6時 帰り 両津港発 16:30

NO.2・3で事前案内していたようにいよいよ「日本海を平和の海に」共同戦線がスタートします。

地元新潟県はもとより、秋田県PCが市の総会を延期してまで車2台5人以上を参加させたいとはりきっているほか、青森、石川、富山、福井、京都と日本海戦線の平和委員会が検討を進めています。

山形県も鶴岡で車一台を考えているほか内陸からの参加も呼びかけています。

足元を知ることから運動ははじまります。誘い合って行きましょう！

費用等参加確認については佐々木（070-6953-6900）まで問合せを。

50周年記念 原水爆禁止国民平和行進

6月12日三崎公園・14日及位駅

日本海コース6月12日、内陸コース14日秋田から引継がれます

県原水協も創設50周年ですが、同時に国民平和行進もめでたく50周年です。

田川地区では16日に実行委員会を開きますが、内陸含めコースは前回同様となる予定です。日本海コースには全国通し行進者が2名（渡邊正郎さん - 東京・昭島原水協、小田正さん - 新潟新発田の革新懇、生健会の方）が北海道・礼文島から歩き続けます。内陸コースは全国通し行進者がおりませんので、県内通し行進者として田川の池田道正さんから入ってもらうことにしました。

今年は記念すべき年。世界大会には被爆者の会の三浦恒祺会長もはじめて参加します。2010年NPT核不拡散条約会議に向けて核廃絶の大波をつくる土台となる年です。

昨年以上の参加と創意工夫で大いに市民アピールしていきましょう！

なお、平和資材は中央から下りて来次第、各団体に送付致します。今年はメッセージの書き込めるうちわもありますよ。

《原水禁世界大会・ヒロシマへ代表を決めて平和行進を盛上げよう！》

前述のように被爆者の三浦さんが初めて原水禁世界大会に参加します。広島は被爆した街です。彼を送るための絵葉書の普及運動に協力いただき、「三浦恒祺さんと一緒に行くヒロシマ平和の旅」等のネーミングで大いに代表派遣運動を盛上げ、参加者を早めに決めましょう。